# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

09-290995

(43)Date of publication of application: 11.11.1997

(51)Int.CI.

B66F 7/08

(21)Application number: 08-105198

(71)Applic

(71)Applicant : SHIMADZU CORP

(22)Date of filing:

25.04.1996

(72)Inventor: OKADA KENICHI

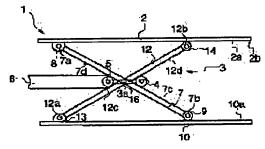
KISHIDA MITSUFUMI

# (54) **LIFTER**

# (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a litter to rise in a condition where the angle formed by scissors links is small so that the scissors links are almost overlapped on each other without providing an offset at a cylinder supporting point.

SOLUTION: A lifter 1 supports a ceiling 2 by a pair of scissors links 3 in which a pair of first and second link bars 7, 12 are pivotably attached to each other at a middle part, a pair of rollers 4, 5 are inserted in an opening part to be opened horizontally from a pivotably attached point 3a of the scissors links 3, a cylinder 6 which is a linear actuator is fitted with the rollers 4, 5 as support, and the distance between the rollers 4, 5 is changed to drive the scissors links 3, and a lifter 1 of low profile as thick as the scissors links 3 can be realized, and the maximum output is not necessary in the rise.



# **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

# (19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

# (11)特許出願公開番号

# 特開平9-290995

(43)公開日 平成9年(1997)11月11日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>		識別記号	庁内整理番号	FΙ		技術表示箇所
B66F	7/08			B66F	7/08	E
	7/06				7/06	F

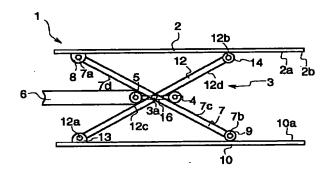
		審査請求	未請求 請求項の数1 OL (全 4 頁)		
(21)出願番号	<b>特願平8</b> -105198	(71)出願人	000001993 株式会社島津製作所		
(22)出顧日	平成8年(1996)4月25日	(72)発明者	京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地 岡田 健一 京都市右京区西院追分町25番地 株式会社 島津製作所五条工場内		
		(72)発明者	岸田 充史 京都市右京区西院追分町25番地 株式会社 島津製作所五条工場内		
		(74)代理人	弁理士 赤澤 一博		

#### (54) 【発明の名称】 リフタ

# (57)【要約】

【課題】 シリンダ支持点にオフセットを設けなくて も、シザーリンクがお互い重なるような開きが浅い状態 から立ち上がるリフタを提供する。

【解決手段】 このリフタ1は、天板2を、一対の第 1、2リンクバー7、12を中間部において枢着した一 対のシザーリンク3によって支持し、このシザーリンク 3の枢着点3aから水平方向に開く開きの部分に一対の ローラ4、5を差し込み、この両ローラ4、5を支持と してリニアアクチュエータであるシリンダ6を取り付け 両ローラ4、5間の距離を変化させることにより、シザ ーリンク3を駆動させるように構成されているので、シ ザーリンク3の高さだけの薄型リフタ1を実現する事が でき、さらに立ち上がり時に最大出力が必要とならな い。



20

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】天板を、一対のリンクバーを中間部におい て枢着した一対のシザーリンクによって支持し、少なく とも一方のシザーリンクの枢着点から水平方向に開く開 きの部分に一対のローラを差し込み、この両ローラを支 持としてリニアアクチュエータを取り付け両ローラ間の 距離を変化させることにより、シザーリンクを駆動させ ることを特徴とするリフタ。

#### 【発明の詳細な説明】

## [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、産業用機械として 荷役作業の際に使用されるリフタに関するものである。

#### [0002]

【従来の技術】従来のリフタの駆動は、油圧シリンダ等 を用いシザーリンクを中間軸で持ち上げて行うが、その 際、図5に示すように、シザーリンクAの土台上の固定 端aと中間軸bにシリンダcの支持を置いている。この ため、シザーリンクAがお互い重なるような開きが浅い 状態からでは起動時に駆動手段の出力が大きくなる。こ のような起動時に駆動手段の出力が大きくなることを避 けるため、一般的には、シリンダ支持点にオフセットd をつけて対処していた。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】ところが、このような オフセットdを付けると、図6に示すように、このオフ セットd収納のためにリフタの上下に空間が必要とな り、リフタの薄型化に限界がある。そこで、本発明は、 このようにオフセットを設けなくてもシザーリンクがお 互い重なる状態から立ち上がるリフタを提供することを 目的とする。

#### [0004]

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の問題点 を解決するためのリフタであって、天板を、一対のリン クバーを中間部において枢着した一対のシザーリンクに よって支持し、少なくとも一方のシザーリンクの枢着点 から水平方向に開く開きの部分に一対のローラを差し込 み、この両ローラを支持としてリニアアクチュエータを 取り付け両ローラ間の距離を変化させることにより、シ ザーリンクを駆動させていることを特徴とする。

#### [0005]

【発明の実施の形態】本発明に係るリフタは、天板を、 一対のリンクバーを中間部において枢着した一対のシザ -リンクによって支持し、少なくとも一方のシザーリン クの枢着点から水平方向に開く開きの部分に一対のロー ラを差し込み、この両ローラを支持としてリニアアクチ ュエータを取り付け両ローラ間の距離を変化させること により、シザーリンクを駆動させるものである。

【0006】このような構成のものであれば、リニアア クチュエータを水平に配設して、シザーリンクの高さの 範囲内におさめることができるので、リフタの髙さがシ ザーリンク自身の髙さ以上にはならず、リフタの薄型化 が可能である。また、従来のリフタはシザーリンクを立 ち上げる時に最大出力が必要となるが、本発明のリフタ では、くさびを打ち込む原理により大きな力を要せずに シザーリンクの立ち上げが可能で立ち上げ時に最大出力 が必要とならない。

### [0007]

【実施例】以下、本発明の一実施例を、図1~図4を参 照して説明する。このリフタ1は、図1及び図3に示す ように、天板2を、対向する2辺2b、2cに配設して 10 なる一対のシザーリンク3によって支持し、シザーリン ク3の枢着点3 aから水平方向に開く開きの部分に一対 のローラ4、5を差し込み、この両ローラ4、5を支持 としてリニアアクチュエータである油圧シリンダ6を取 り付け両ローラ4、5間の距離を変化させることによ り、シザーリンク3を駆動させるものである。

【0008】シザーリンク3は、図1及び図3に示すよ うに、後端7aを天板2の下面2a後寄りに設けられた 軸受8に枢着するとともに、前端7 bにローラ9を取り 付け土台10の上面10a前寄りに転動可能に配設した 第1リンクバー7と、後端12aを土台10の上面10 a後寄りに設けられた軸受13に枢着するとともに、前 端12bにローラ14を取り付け天板2の下面2a前寄 りに転動可能に配設した第2リンクバー12とを具備し てなるものであり、両リンクバー7、12を枢着点3 a で枢着させてなる。シザーリンクを摺動可能に係合する 方法は、このようにリンクバーに設けられたローラを天 板下面及び土台上面で転動させる方法や、対向するX脚 の可動端同士を直線の棒または小板で連結しその連結し 30 た部材を土台及び天板に設けられた溝に摺動可能に係合 する方法などが可能である。

【0009】シリンダ6は、図2に示すように、シザー リンク3の最小の開きの状態で、その高さの範囲内にお さまる上下丈のもので、図4に示すようにロッド16の 先端16aとシリンダ6のヘッド側6aに、直交する軸 4a、5aを連結しその軸4a、5aの両端に一対のロ ーラ4、5を取り付け、シリンダ6の往復運動により、 この両ローラ4、5の距離を変えられるようにしてい

【0010】次に、シリンダ6のシザーリンク3への取 40 付方法を説明する。図1及び図3に示すように、シザー リンク3の枢着点3aから水平方向に開く開きの部分 に、第1リンクバー7の上面7cと第2のリンクバー1 2の下面12dにローラ4が、また、第1リンクバーの 下面7dと、第2リンクバーの上面12cにローラ5が 当接するように両ローラ4、5を挟み込む。天板2の対 向する2辺2b、2cに配設してなる一対のシザーリン ク3は、軸4a、5aにより、その動きを同調可能に支 持されている。ローラ4、5を第1、2リンクパー7、 12に沿って回動させシリンダ6のロッド16を伸縮さ 50

3

せることにより、シザーリンク3の開きを変化させ、天板2を昇降させる事ができる。なお、リフタ1の使用位置でシザーリンク3をロックする方法としては、例えば、シリンダー6内に油を閉じ込めて油圧的にロックする方法などが可能である。

【0011】次に、本実施例の作動について説明する。図1は、シザーリンク3の開きを最大にしている状態である。この状態から、シリンダ6のロッド16の距離を大きくしていくと、シザーリンク3の開きは小さくなっていき、天板2は下降する。図2は、シザーリンク3がほとんど重なるような、開きが最小の状態である。再び、このようなシザーリンク3が殆ど重なるような開きの小さい状態から立ち上げるときには、第1、第2のリンクバー7、12の間に生じる僅かな隙間に、くさびを打ち込むようにローラ4、5を引き入れ駆動させる。シリンダ6のロッド16の距離を縮めていくと、シザーリンク3の開きは大きくなり天板2は再び上昇する。

【0012】このような構成のものならば、従来の駆動手段では、シザーリンク3が重なるような開きの小さい状態からの駆動では大きな出力が必要となっていたが、小さな出力で駆動が可能である。また、シザーリンク3の高さの範囲内におさまる水平な油圧シリンダなどのシリンダ6を用いているので、シザーリンク3自身の高さ以上にはならず、リフタ1の薄型化が可能である。

【0013】なお、本実施例では、一対のシザーリンクの両方にローラを差し込み駆動させたが、どちらか一方のシザーリンクだけを駆動させ、天板を昇降させるのも可能である。その他の構成も、上述した実施例に限られず、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

# [0014]

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実

施され、以下に記載されるような効果を奏する。本発明に係るリフタは、天板を、一対のリンクバーを中間部において枢着した一対のシザーリンクによって支持し、少なくとも一方のシザーリンクの枢着点から水平方向に開く開きの部分に一対のローラを差し込み、この両ローラを支持としてリニアアクチュエータを取り付け両ローラ間の距離を変化させることにより、シザーリンクを駆動させるものである。

【0015】このような構成のものならば、簡略な構成 で、従来型にはない、シザーリンクの高さだけの薄型リフタを実現することができ、さらに、立ち上がり時に駆動手段に最大出力が必要とならず、容易にリフタの駆動が可能である。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す側面図。

【図2】同実施例の天板を最下降させた状態を示す側面図。

【図3】同実施例を示す平面図。

【図4】同実施例のシリンダを示す平面図。

20 【図5】従来の技術を示す側面図。

【図6】同天板を最下降させた状態を示す側面図。

【符号の説明】

1…リフタ

2 …天板

3…シザーリンク

3 a …枢着点

4…ローラ

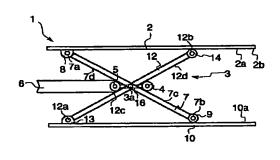
5…ローラ

6…シリンダ

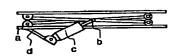
30 7…リンクバー (第1リンクバー)

12…リンクバー(第2リンクバー)

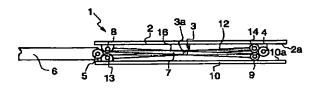
【図1】



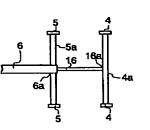
【図6】



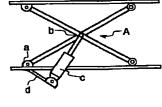
[図2]



【図4】



【図5】



【図3】

